

卒1看護師が 「医療の安全性」「6ヶ月目のグループワーク」 を行いました

新卒の看護師が入職し、はや半年が過ぎました。6ヶ月目の目標は、「臨床看護に必要な技術を習得し、患者に適切な看護を提供する」です。卒後1年目の看護師は、3交代勤務の一人立ちをし、多くの事を考え、感じ、経験してその一つ一つを乗り越え、毎日の業務を頑張っています。そこでもう一度、医療の安全性について振り返ってもらうために医療安全担当者より「医療の安全性」について講義を行いました。

毎日の業務中に行っている「点滴」について、実施するまでの流れをロールプレイング方式で確認しました。受講生は緊張しながらも、日頃行っている様に行いました。他の受講生のロールプレイングをみて、自分の実践の中で足りなかった点を気づく事ができました。その後、10月分の「注射・点滴」についてのヒヤリハット集を見て内容の分析を行いました。自分たちで分析をすることにより、いかに日常業務の中に危険が伴っているか身にしみたようです。講義を受け、リスクの感性を磨き医療を安全に提供することを学びました。



点滴の流れを確認

6ヶ月目のグループワークでは「悩み・思いを自信に変える」をテーマに受講生同士、話し合いました。



グループワークの様子

それぞれ悩みや思いを話し、これからどうしていけばよいのか？何が必要なのか？みんなで具体的に解決策を考える事ができました。最後に各病棟の師長より応援メッセージをいただきました。

受講生は自分の成長に自信がついたと共に、今の思いを今後につなげていく振り返りができた研修となりました。